

Vegetarian,
Vegan,
Halal...

無料・定員50名程度
市内の宿泊施設・飲食店など
食品を扱う観光関連事業者向け

今日からできる！
多様な食文化
への対応セミナー

多様な食文化への対応方法（基本編）

2024.1.29 MON
14:30~16:00

@倉敷市芸文館アイシアター
(倉敷市中央1-18-1)



多くの外国人観光客が見込まれる2025年（大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭の開催年）を見据え、ベジタリアン・ヴィーガン・ハラール等の多様な食文化への対応が求められています。このセミナーでは、「多様な食文化とは何か」「メニュー開発や受入環境を整えるうえで押さえておきたいポイント」等の基本的な内容を、市場動向も交え、わかりやすくお伝えします。

講師



守護 彰浩 (しゅご あきひろ)

フードダイバーシティ株式会社 代表取締役
流通経済大学非常勤講師

千葉大学卒。2006年に世界一周を経験後、2007年楽天株式会社に入社。2014年、多様な食文化に対応するレストラン情報を発信するためにフードダイバーシティ株式会社を創業。ベジタリアン、ヴィーガン、ハラール、コーシャ、グルテンフリー、アレルギーなどの事業領域にて、全国自治体・行政と連携しながら普及のための講演活動、及び集客のための情報発信を行う。2020年には総理大臣官邸で開催された観光戦略実行推進会議にて、菅総理大臣に食分野における政策を直接提言した。

主要な事業実績

- ・平成29年度 一般社団法人全国司厨士協会と業務提携し、全国にて講習会を実施
 - ・平成30年度 東京都「多様な食対応に関するアドバイザー」に任命
 - ・平成30年度 農林水産省「外国人観光客と食の多様化への対応事業」にて全国で講演を実施
 - ・令和元年度 セブン&アイ・ホールディングス、NTTドコモ、フードダイバーシティで業務提携し「食品判定システム」を共同開発
 - ・令和2年度 内閣官房「観光戦略実行推進会議」にて、菅総理大臣へ食分野における政策を直接提言
 - ・令和4年度 国土交通省観光庁「多様な食習慣等を有するインバウンドの受入対応促進事業」を推進
 - ・令和5年度 G7に関する食のアドバイザー業務推進
- このほか地方自治体、企業における多数の食関連事業に従事

【申込】令和6年1月22日までに①申込フォームまたは②メールで所属・氏名をお伝えのうえ、お申込みください。①申込フォーム：右のQRコードから入力
主催：倉敷インバウンド誘致委員会（（公社）倉敷観光コンベンションビューロー内）TEL 086-421-0224 前岡,西原 /後援：倉敷市 ②メール：nishihara@kankou-kurashiki.jp

